

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 5月 10日

事業所名 ILIS CLUB 八尾南

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		特にありません。
	2	職員の配置数は適切である	50%	25%	配置数が少なく感じられますが、必要数のスタッフでは対応出ています。	各々のスタッフで見守りや声掛けを行い、スムーズに支援を行います。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	75%	0%	危険な物を置かないよう物は少なくしています。	必要に応じて工夫していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	75%	25%	行っています。	継続して行います。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	75%	0%	行っています。	継続して行います。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	50%	0%	行っています。	全スタッフの周知に努めます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	行っています。	継続して行います。
適切	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	75%	0%	行っています。	全スタッフの周知に努めます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	75%	0%	行っています。	全スタッフの周知に努めます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	75%	0%	行っています。	スタッフ全員で立案する意識をもつよう話し合いを行います。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	75%	0%	行っています。	スタッフ全員で意識するよう話し合いを行います。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	75%	0%	行っています。	スタッフ全員で話し合いを行い共有します。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
かな 支援 の 提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	75%	0%	行っています。	スタッフ全員で話し合いを行い共有します。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	75%	0%	行っています。	スタッフ全員で話し合いを行い共有します。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	行っています。	継続して行います。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	75%	0%	行っています。	スタッフ全員で話し合いを行い共有します。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	75%	0%	行っています。	スタッフ全員で話し合いを行い共有します。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	75%	0%	行っています。	スタッフ全員で話し合いを行い共有します。
関係 機関 や 保護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	行っています。	必要な情報は児発管やマネージャーに伝えるように体制を整え、継続して行います。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	行っています。	必要な情報は児発管やマネージャーに伝えるように体制を整え、継続して行います。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	25%	0%	必要な児童はいません。	必要に応じて対応します。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	行っています。	必要な情報は児発管やマネージャーに伝えるように体制を整え、継続して行います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	75%	0%	行っています。	スタッフ全員で話し合いを行い共有します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	75%	0%	行っています。	スタッフ全員で話し合いを行い共有します。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	25%	0%	ほとんどありません。	必要に応じて対応します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	25%	0%	行っています。	スタッフ全員で話し合いを行い共有します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	行っています。	継続して行います。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	50%	0%	行っています。	研修を通して個々のスタッフの専門性を高めていきます。研修等の後にスタッフ全員で話し合いを行い共有していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	75%	0%	行っています。	スタッフ全員で話し合いを行い共有していきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	75%	0%	行っています。	研修を通して個々のスタッフの専門性を高めていきます。研修等の後にスタッフ全員で話し合いを行い共有していきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	25%	0%	コロナ禍の為に控えています。	必要に応じてリモートでの開催などを行います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	行っています。	継続して行います。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	行っています。	継続して行います。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	行っています。	継続して行います。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	75%	0%	行っています。	スタッフ全員で話し合いを行い共有していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	25%	0%	行っています。	スタッフ全員で地域との関わりを意識した事業所運営を行うよう気をつけて行きます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	75%	0%	行っています。	全スタッフが把握して保護者に伝えられるようにします。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	行っています。	継続して行います。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	75%	0%	行っています。	継続して行います。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	75%	0%	行っています。	周知するよう勧め、対応の仕方についてチームで検討を行います。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	しています。	継続して行います。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	75%	0%	しています。	全スタッフが周知するよう努めます。